

町のすがた

(8月1日現在)

人口 男 3,344人(+8)
 女 3,612人(+6)
 計 6,956人(+14)
 世帯数 1,557 (+1)
 ()は7月1日との比較

850年 第89号

発行 昭和50年8月15日
 新潟県三島郡三島町役場
 電話 (025842) 2222
 印刷 長岡市北越印刷機

気をつけて『農作業事故』

特に多いコンバイン



(4)

藁の文化
 先人の生活には、藁(わら)の利用が非常に多かった。わらそのものを燃料として用い、わら縄、わら綱は結束に、かます俵は容器として物を入れ、荷縄、もっこは運搬用に、農耕には堆肥、わら灰をつくって肥料とし、家畜の飼育には飼料としたり、畜舎の敷きわらとした。



わらじ

家の雪囲いや屋根に、あるいは敷物として、むしろや蓆床、そしてわらぶとん。又、わらの飯櫃(めしびつ) 鍋敷などの台所用具にも用いられた。なかでも、今までに取り上げてきた、履物、わら蓆(みの)などの装身用具は理にかなったみことな生活用品である。往昔の生活を築き上げてきた「わらの文化」は、このほか数えあげたらきりがなく、多彩である。



農作業事故が激増しています。昨年、県内で農作業による事故が百十件も起っています。三島町でも男(58)の人が、コンバインで手首を切断するという大きな事故を含めて八件の事故が起っています。

最近の農作業事故の特徴は、秋

に集中して起っていること。なかでも、コンバインによる事故が圧倒的に多く機械化による新しい悲劇とも言えます。

まもなく始まる秋の収穫、稲は来年も作ることができませんが、もげた指はくっつけようがありません。ケガをしただけで、収穫の喜びも一瞬にして消えてしまいます。

そこで、安全に機械を操作していただくためのポイントを三つほど。

■故障、点検は原動機を止めて農作業事故によらず、事故は偶発的に起るものです。夢中になれば、エンジンの音も機械が回っていることも忘れてしまふのが普通です。故障したとき、点検するとき、どんなに忙しくとも、いや忙しいときこそ、機械を足場の良い広い場所に移動して、原動機を止めて点検してください。

たびたび故障するので、せつかく取り付けられた防護装置をはずしたまま作業をしているのを見かけますが、これらはいへん危険です。

点検、修理のあとには必ずその位置に防護装置をつけることを忘れないでください。

■「ぼろは着ても心は錦」では衣服の一部、頭髪、手拭などが巻き込まれたために大きな事故、ということが多くあります。安全な作業スタイル心は錦が理想的です。

教子さん
 県大会走り高跳で優勝
 八月七日、新潟市で開かれた、中学校選抜総合体育大会で、三中学生の平原教子さん(写真)が一・六十センチの大会タイ記録で優勝した。いままでの自己最高記録が一・四七センチというから、「二回目にクリアしたとき、信じられない気持ち」というのも無理ない。



「背面跳びをこなすみことな跳躍力は長い足から生まれた。今後の努力次第でまだ記録更新も」と指導の丸山先生も目を細める。



力と熱と汗

市民体育祭

動物..... はじめは、どうでも良いと思っていても、いざ「本番」となるとがぜん「動物的本性」を発揮。
自分のチーム、自分の子どもが「抜きつ抜かれつ」ともなれば、もう止めようのない力が入る。
全力を出す者、全力を出す者への情しみなない声援、みごとに一体となつて熱気がこもる。
汗..... 勤勞によって流す汗ももちろん大切、だがそれにも負けない汗だ。体質的に嫌だとおっしゃるかたは除外だが。
汗..... 流れる汗といっしょに「現代病」も流れ出る。仕事を忘れて全力を出しきれぬ人こそ、明日への活力をたくわえた「真の人間」かも。

国勢調査

「国勢調査は社会(よのなか)の実況(ありさま)を知る為に行うので課税(ぜいきん)の為でも犯罪(ざいじん)を捜す為でもありません」これは大正九年、わが国最初の国勢調査が行われたときのポスターに書かれた文章です。

何しろ、時代が時代であり、初めての「文明的国家事業」というわけで、旅行列、講演会、はてはテンドン屋まで広報に活躍。調査日の十月一日午前零時には、大砲、サイレン、花火、お寺の鐘、お宮のタイコが打ち鳴らされ、文字通り鳴りものいりのお祭り騒ぎだったという。国勢調査が法律として制定されたのは、これより約二十年も前、明治二十九年のこと。国勢とは、国の勢いではなく、国の現状という意味であると法案説明されている。

ともあれ、今年十月一日には実施される。県では予想人口を次の要領で募集している。「山カン」の強い人は、応募を。◎新潟県の子想人口と住所氏名、年齢、職業(児童生徒の場合には学校名、学年も)を書き、千九五一、新潟市学校町通り、県庁内、昭和五十年国勢調査新潟県実施本部あて、「はがき」を送る。

◎一等賞二万円(一人) 前後賞五千元(二人) ほかに残余賞
 ◎参考 四十年 2,398,931人
 四十五年 2,360,982人
 四十九年 2,370,318人
 (四十九年は県の推計人口)

8、9月衛生行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
8.19	三才児検診	47.4.2から47.9.30生れの幼児	総合福祉センター	12.30~14.00
8.19	栄養指導	一般希望者	下河根川公民館前	10.00~11.30
8.19	"	"	藤宮公民館前	13.00~15.00
8.27	乳児検診	生後3ヶ月~1才未満の乳児	総合福祉センター	12.30~14.00
8.28	成人病指導会	個人通知をいたします	三島町体育館	13.30から
8.29	"	"	"	"
9.12	妊婦検診	妊婦	総合福祉センター	13.00~15.00

免許証更新講習会

☆ とき 8月20日(水)夜8時より
 ☆ ところ 町体育館(2階選手控室)
 ☆ 受講する人 9月~11月中に運転免許証が書き替えとなる人

コンバイン安全講習会

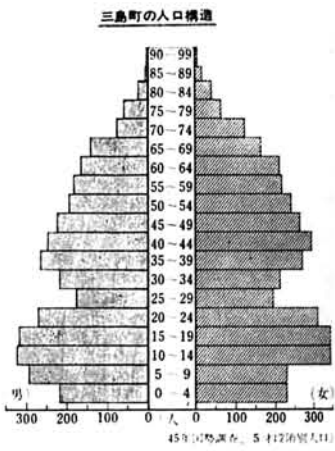
◇ とき 8月23日(土)午前10時より
 ◇ ところ 福祉センター
 ◇ 講師 長岡農試専門研究員 長谷川一男
 ◇ 対象 コンバインを所有されている人はぜひ受講ください

調査員が訪問します

10月1日
国勢調査

世帯人員など十六項目 固く守られる秘密、ご協力を!

わが国が世界に誇る統計「国勢調査」が、十月一日を調査日として、全国いっせいに実施されます。今回の調査は、大正九年の第一回調査からかぞえて十二回目、復興後の沖縄県も始めて加わり、全国で一億一千万人を超えたと推定される人口、三千三百万世帯に、六十七万人の調査員が動員される「マンモス調査」で、その成果に大きな期待がかけられています。



シンボルマークとシール
国勢調査のシンボルマーク、調査が終るとこのマークのついたシールを玄関にはっていただきます。

住宅対策などに幅広く重要な基礎資料として利用されます。さらに、人口と資源、人口と食糧などの人口政策の問題は、昨年の「世界人口会議」をきっかけとして、一躍各国でクローズアップされてきました。日本でも人口にかかわる重要課題は多く、大都市への人口集中による過密、過疎問題、老令人口の増加、核家族に代表される世帯の細分化と住宅問題など、今すぐ根本的な対策をたてないと将来に悔いを残す難題が山積しています。このような意味からも、今回の調査は、たいへん重要視されています。全国の人口、世帯数は来年の四月に概数として公表され、五十一年度から早く公の数字として前回より一年早く利用されるのも今回の特徴です。

- ☆調査員のみなさん
- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 池田輝雄(鳥越) | 結城俊夫(鳥越) | 山田伝之(鳥越) | 斎藤久義(鳥越) | 原田喜代士(鳥越) | 池田幸雄(七口市) | 中村一幸(七口市) | 斎藤敏夫(七口市) | 青柳芳雄(七口市) | 青柳芳雄(七口市) | 小柳芳雄(七口市) | 安藤勇夫(上岩井) | 片野敏夫(上岩井) | 東野敏夫(上岩井) | 丸山由之助(上岩井) | 小林和夫(上岩井) |
|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|

☆指導員
米持昭次、小熊佐太夫

四十九年十二月三十日現在で、町内製造業事業所を対象に実施された「工業統計調査」の結果は、事業所数百二十三、従業者数六百五十一人で、前年とほぼ同数、出荷額は前年より約十五割多い二十四億一千万円でした。

四十三年以降の製造品出荷額の推移とその内訳は、上のグラフのとおりです。製造品出荷額は四十七年以來、食料品部門の伸び率が小さいことなどあって連続十五割前後の伸び率にとどまり、県全体の傾向と比べると伸び率が鈍化しています。

製造品出荷額に占める割合では食料品が五十七割と圧倒的に多く、次いで綿などの金属製品、木材製品、家具装飾品の順となつていま

ただ今 工事中

三中、旧校舎は七月下旬から取りこわし工事が始まり(写真)特徴ある三棟の木造校舎は、その大部分がさびしく姿を消した。



町でも三十八名の調査員(内閣総理大臣任命、後掲のみなさん)をお願いして、九月下旬から各世帯を訪問していただき、調査をお願いします。調査結果は、議員定数、選挙区の決定、地方交付税の算定をはじめ、社会福祉対策、雇用、交通で十六項目です。

「生活道路」町道の改良、舗装工事は、今年度予定する工事の八割が契約を終え、すでに上条の丘向線(写真)の改良、中条・大野線、日吉駅の舗装工事など十三路線が完了、または工事中です。

この感激忘れません……三中写真集

① 七月十八日の竣工式、生徒を代表して渡辺茂夫くんが「この感激いつまでも忘れず大切にしたい」と喜びのことば。土地を豊かに

② 威容を誇る新校舎。③ 新しい教室には、笑顔がいっぱい。④、⑤三月の旧校舎引き家のあと、七月三十日の起工式で建設工事がスタートを切った。⑥ 新校舎へ机を運ぶ楽しそうな顔が印象的。⑦ 竣工式を間近にひかえた七月三日、郡中学校球技大会の野球が、新装なったグラウンドを使って行なわれた。



4億5千万円かけて
中学校完成

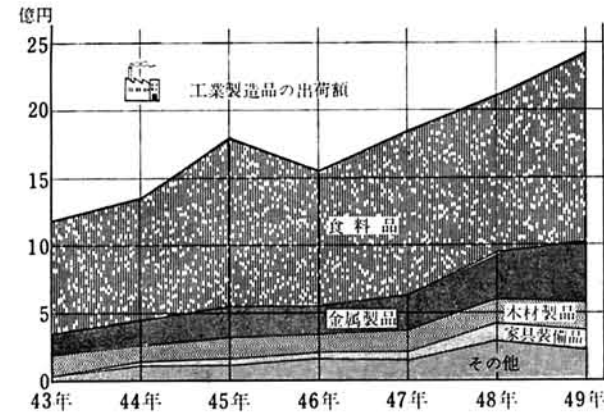
明るい教室、ととのった設備

■工事経過概要

年、月	工事契約事項等	備考
46. 9	耐力度調査	
47. 12	建設審議会に諮問	委員10名
48. 1	建設審議会第1次答申	21,572㎡ (買収面積)
48. 7	グラウンド用地買収	
48. 10	建設審議会最終答申	
48. 10	グラウンド造成工事契約	備吉原組 3,170万円
49. 7	グラウンド竣工	16,900㎡ (有効面積)
49. 3	旧校舎の取りこわしと引家工事(一部)	
49. 7	校舎改築事業認定	文部省
49. 7	本工事契約、起工式	備吉原組 3億2千万円
49. 12	躯体工事完了	
50. 6	工事完了	3,853㎡ (延べ面積)
50. 7	竣工式	



町の統計



四十九年十二月三十日現在で、町内製造業事業所を対象に実施された「工業統計調査」の結果は、事業所数百二十三、従業者数六百五十一人で、前年とほぼ同数、出荷額は前年より約十五割多い二十四億一千万円でした。